

# CommunitySchool だより

文責：菊岡 文枝  
(CS ディレクター)

師走に入り、あわただしくなってきました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、まことにありがとうございます。今年度2回目の学校運営協議会が開催されましたので報告します。

## 第2回学校運営協議会を開催

11月29日(金)に第2回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会会議の中では、学校評価の説明をうけ、地域・学校の課題について活発な討論が行われました。不登校の問題、毎月15日に行われている「子どもの安全を守る市民行動の日」の取り組み方、運動会での見学のしかたなどが話し合われました。

不登校の問題では子供と親を地域と学校が連携して支えていく必要があるのではないかと、「子どもの安全を守る市民行動の日」では須津地区の町内会長会、福祉推進会、社協などの多くの組織が関わっているので、まちづくり協議会の安心安全部門で協議していく必要があるのではないかと、などの声が出ました。また運動会については、須津小は校庭が狭いため、どのように保護者や地域の皆さんに見学をしていただいたらよいかについての意見が出されました。今後も熟議を重ね、よりよい学校運営にいかしていきます。

## トーク・フォークダンス楽しかったです

今回の学校運営協議会では会議の前に、「トーク・フォークダンス」を学校運営協議会委員と5・6年生の皆さんに体験してもらいました。「トーク・フォークダンス」は、二重の円になって相手を変えながら1分程度で対話を繰り返します。「お題」に沿って自分の思いや考えを話し、片方が話しているときには遮らずにじっと聞きます。地域の大人の方々と対話を楽しみながら、子供たちのコミュニケーション力を高め、地域への関心を持ってもらえるといいです。普段はなかなか話す機会のない子供と大人が話をするという事は、とても貴重な体験になりました。

体験した後にアンケートを記入してもらいました。子供たちは参加者全員が「またやってほしい。」と希望していました。子供の感想は「大人の人たちがたくさん話してくれて、時間が短かく感じるくらい楽しかった」「地域の方々が須津地区や小学生のために、いろいろな活動をしてあげていることがわかった。感謝したいと思った。もっとたくさんの生徒がこのお話を聞いてほしいと思った。」「子供と大人は感じることや思うことがちょっと変わると思う。なのでこのように大人と子供で話すことはけっこう大事だと思う。」などでした。また大人の感想は「子供と1対1で話すことは大変貴重な機会だった。楽しかった。」「どの子もしっかり自分の意見を持っていて感心した。」「地域の子供と大人がこのように

関わっていくことは、地域への愛着、活性化、安全、子供の健やかな成長に必ず繋がっていくものだと思う。」などでした。

また今後「お題」として取り上げてほしいことは「自分の趣味、好きなこと、はまっていること。」「須津地区にほしい施設」「須津の子供たちが直してほしいところ。」「昔の須津小はどんな感じだったか。」「未来の夢」などでした。

子供たちが「大人とたくさん話をしたい」と望んでいることがわかりました。同じ目線で一生懸命伝えようとすれば、年齢も立場も関係なく、しっかりと気持ちが伝わるのかなと思いました。次回はもっと多くの地域の皆さんに声をかけて参加をお願いし、開催します。ぜひご参加をお願いします。

